

## エコアクション 21

# 環境経営レポート



「ガイドライン 2017 年版適用」

【発行日】2025年11月25日

【対象期間】2024年9月1日～2025年8月31日

## マルワ環境株式会社

## 目 次

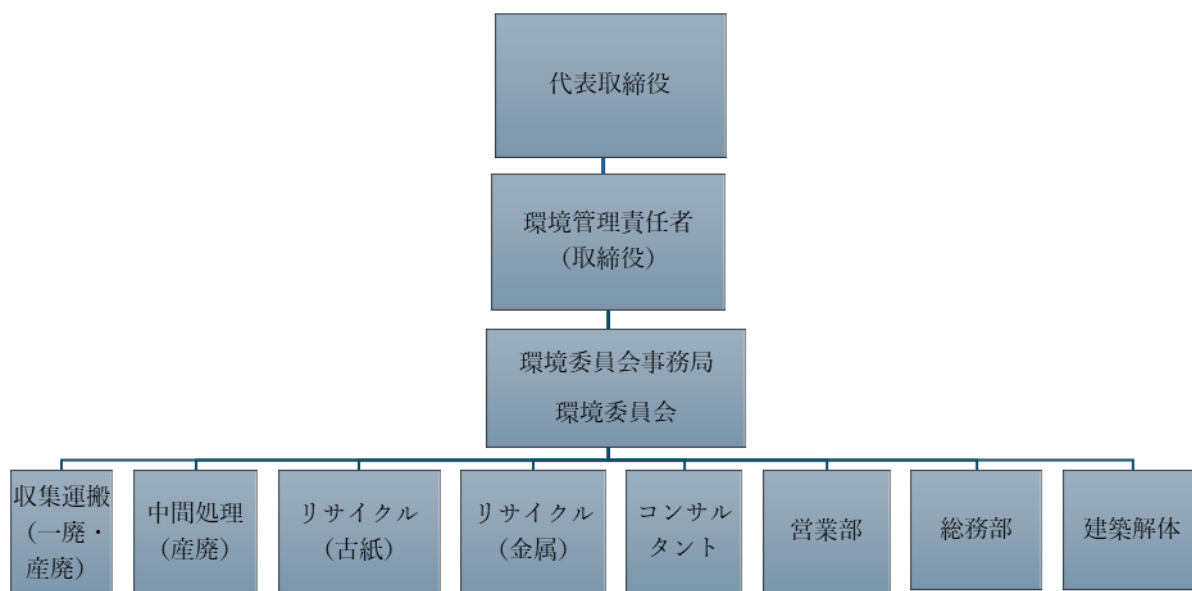
1. 会社概要	3、4
— 所在地	
— 事業の概要	
2. EA21 対象範囲	7
— 認証・登録範囲	
— レポート対象期間及び発行日	
3. 環境経営理念・環境経営方針	8
4. 環境経営目標と実績	12
5. 環境経営計画 と SDGs への取り組み	14
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	14
7. 環境関連法規等の遵守状態の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	15
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	15
9. 社内活動の紹介（環境保全・維持向上活動風景）	16～19

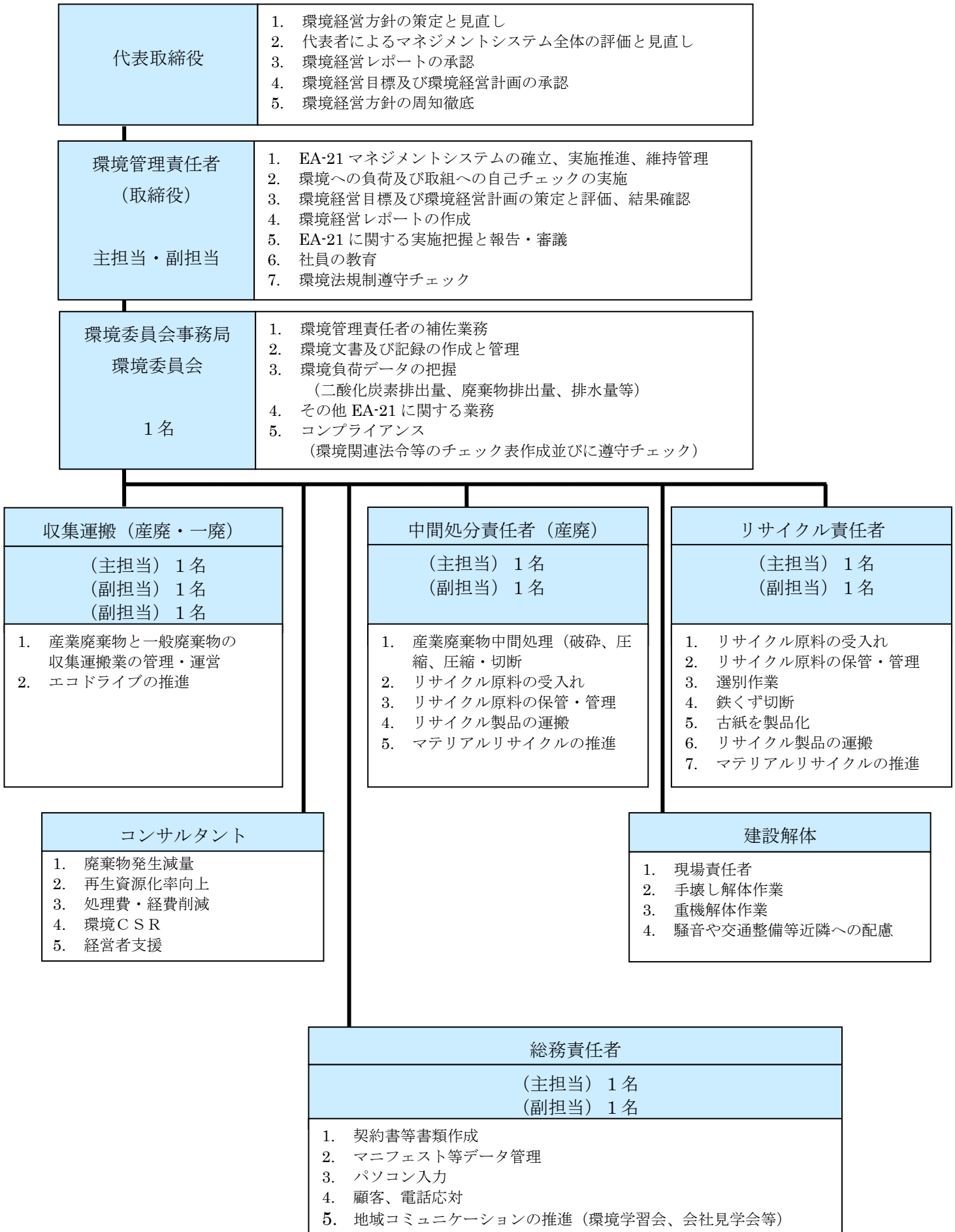
# 1.会社概要

## 《会社概要》

項目	内容
商号	マルワ環境株式会社
所在地	本社 徳島県徳島市川内町平石夷野35番地1 電話 (088)697-0051 FAX (088)697-0052 北島支店 板野郡北島町北村字鍋井44番地3 (リサイクルセンターまるわ) 電話 (088)697-0101 FAX (088)697-0052 鳴門支店 鳴門市大麻町東馬詰字参番越43番地1
代表者	代表取締役 丸山修平
創業	昭和32年 1月10日
資本金	1,000万円
従業員数	22名(幹部含)
2024年度売上高	336百万円
事業内容	資源リサイクル業、一般廃棄物処理業(収集・運搬・処分)、一般廃棄物再生利用業、産業廃棄物処分業(中間処理業)、産業廃棄物収集運搬業、ウエス販売(2025年3月終了)
収集運搬業(産業廃棄物)	1,151 t (内訳) 木くず: 25 t / 廃プラスチック類: 444 t / その他: 682 t
収集運搬業(一般廃棄物)	25 t
環境管理責任者氏名 及び担当者	環境管理責任者 2名(取締役、総務担当) 電話 (088) 697-0051 環境委員会事務局 1名(総務副担当) 電話 (088) 697-0101

## ＜組織図＞





《事業活動の内容》 各種許可等

<input type="checkbox"/> 産業廃棄物処分業（徳島県） 許可番号 03620051619 許可年月日 令和 6 年 9 月 6 日 / 許可有効期限 令和 11 年 6 月 23 日 事業の範囲 中間処理（破碎、圧縮、圧縮・切断） 取扱種類 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず		
<input type="checkbox"/> 一般廃棄物処理業（収集、運搬・処分）許可（北島町） 許可番号 清許第 3 号 許可年月日 令和 6 年 3 月 25 日 / 許可期間 自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日 取扱種類 ごみ、粗大ごみ		
<input type="checkbox"/> 廃棄物再生事業者（徳島県） 許可番号 第 8 号 許可年月日 平成 20 年 9 月 4 日 取扱種類 一般廃棄物（廃プラスチック類、繊維くず）		
<input type="checkbox"/> 一般廃棄物再生利用業指定証（北島町） 許可番号 北清第 154 号 許可年月日 令和 6 年 3 月 27 日 / 指定期間 令和 6 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで 取得種類 廃プラスチック類、繊維くず、木くず、紙くず、金属くず		
<input type="checkbox"/> 一般廃棄物再生利用業指定証（徳島市） 許可番号 徳島市指令環政第 128 号 許可年月日 令和 7 年 2 月 27 日 / 指定期間 令和 7 年 3 月 26 日から令和 9 年 3 月 25 日まで 取得種類 金属くず（アルミ缶、ブリキ缶、自転車、家電製品）、紙くず（新聞、雑誌、段ボール、紙パック類）、繊維くず（古着衣類）、廃プラスチック類（ペットボトル、キャップ、ポリ袋）		
<input type="checkbox"/> 産業廃棄物収集運搬業（徳島県） 許可番号 03600051619 許可年月日 令和 5 年 3 月 23 日 / 許可有効期限 令和 10 年 3 月 16 日 事業の範囲 積替え なし 取扱種類 燃え殻、汚泥（無機性のものに限る）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず、がれき類		
<input type="checkbox"/> 再生資源回収事業者認定（日本再生資源事業協同組合連合会） 許可番号 第 N36K-00200 号 許可年月日 令和 5 年 7 月 15 日（更新） / 許可有効期限 令和 8 年 12 月 5 日まで 取扱種類 金属類、古紙類、古繊維類、びんカレット		
<input type="checkbox"/> 一般建設業（徳島県） 許可番号 徳島県知事許可（般-06）第 6970 号 許可年月日 令和 6 年 6 月 3 日 / 許可有効期間 令和 11 年 6 月 2 日まで 取扱種類 土木工事業 / とび・土工工事業 / 解体工事業		
<input type="checkbox"/> 徳島県優良産業廃棄物処理業者（徳島県） 認定番号 徳 210202 許可年月日 令和 7 年 3 月 12 日 / 許可有効期限 令和 10 年 3 月 11 日まで 認定区分 第 2 区分		
<input type="checkbox"/> 古物商許可	徳島公安委員会	第 801050000025 号
<input type="checkbox"/> 金属屑取扱業許可	徳島公安委員会	第徳警北 3 号 / 第徳警北 9 号
<input type="checkbox"/> 自動車商許可	徳島公安委員会	第 25 号

《施設等の状況》

① 車両

ア、運搬車両

- ・ 鹿芥車<sup>じんかいしゃ</sup>・・・2.1 t (1台) / 1.9 t (1台) / 3.0 t (1台) / 2.0 t (1台) / 2.8 t (1台)
- ・ 脱着装置付コンテナ専用車・・・8.3 t車 (1台) / 3.8 t (1台) / 11.6 t (1台)
- ・ キャブオーバ・・・1.0 t (1台) / 3.0 t (1台) / 3.5 t (1台) / 6.4 t (1台)
- ・ ダンプ・・・3.0 t (1台)

イ、営業車両

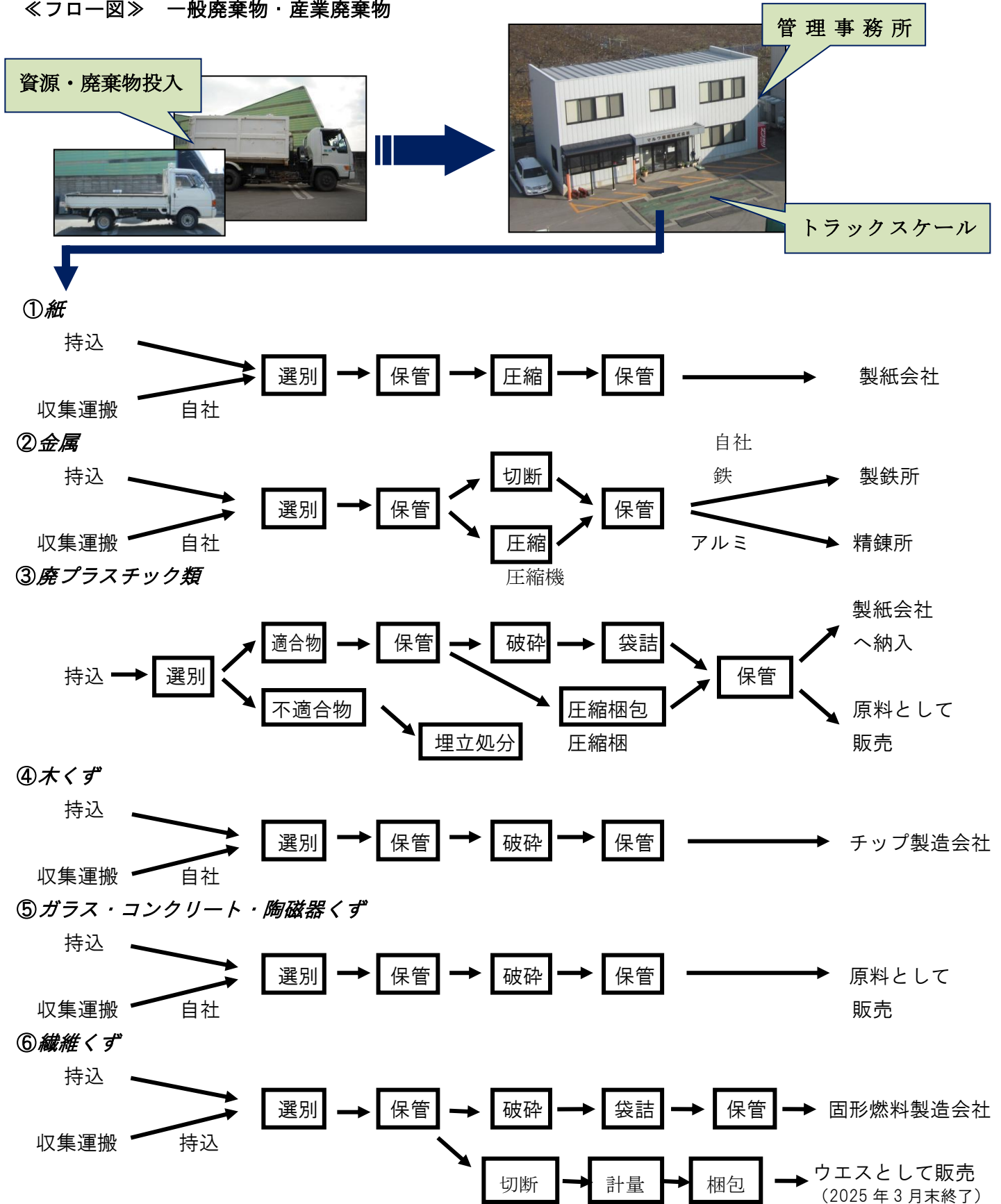
- ・ 乗用車 5台 (うち3台ハイブリッド車)

② その他の車両・機械等の処理能力

施設の種類	最大処理能力 又は積載量等	施設の名称・車両番号等
古紙梱包機	5.00 t / h	渡辺鉄工(株)製 / ラージベール
圧縮梱包機	2.88 t / 日	太陽機械製作所製 / プラスチック類圧縮梱包機
切断圧縮機	4.00 t / 日	太陽機械製作所製 / アリゲーターシャ
フォークリフト	2.5 t	トヨタバッテリーフォークリフト / 5FD25-73042
フォークリフト	3.5 t	トヨタバッテリーフォークリフト / 7FDJ35-22455
フォークリフト	3.5 t	トヨタバッテリーフォークリフト / A508FDJ35-33932
フォークリフト	2.5 t	トヨタディーゼルフォークリフト / A8FD25-71452
油圧ショベル マグネース仕様機	0.62t	コベルコ建機 SK235SRD-5 機械番号:YF08010800
トラックスケール	秤量40 t	(株)クボタ / MLC-7F3-40T3080
圧縮プレス機	5t未満	山本製作所
空缶選別機	約1 t / h	(株)エーイーエム製 缶単君
一軸破碎機	4.90t / 日	西邦機工(株)製 SC-30



《フロー図》 一般廃棄物・産業廃棄物



2.EA21 対象範囲

EA-21 認証及び登録範囲	組織は、全組織・全活動を対象とします。
レポート対象期間：2024年9月1日～2025年8月31日	レポート発行日：2025年11月25日

### 3.環境経営理念・環境経営方針

## マルワ環境株式会社 環境経営方針

### 【環境経営理念】

私たちは、資源リサイクル及び廃棄物処理業者として、地球環境との共生・調和、地球環境保全への取り組みを重要課題と認識するとともに、経営上の課題やチャンス را考慮しながら環境負荷を継続的に削減し地球環境の美化・保全に社員一丸となって取り組みます。

また、エコアクション 21 を通して国連が提唱する持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた活動に取り組みます。

### 【環境経営方針】

1. 事業活動において環境保全に関する関係法令及び徳島県条例その他を遵守するとともに、常に最新の知識や技術情報の収集についての努力を怠らず、全事業(全組織、全活動)において環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境経営に即した環境負荷の削減と環境汚染の未然防止に努めます。
2. 古紙・金属・プラスチックなどのマテリアルリサイクルを推進し、リサイクル率向上による資源の有効利用に努めます。また、廃棄物排出量の削減に努めます。
3. 収集・運搬車両のエコドライブを実施し、省エネと排気ガス抑制に取り組みます。
4. 地球温暖化の防止と大気汚染の防止を最重要課題として捉え、エコドライブの実践など二酸化炭素と使用エネルギーの削減に積極的に取り組みます。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. 環境に配慮した製品、またはサービスの提供並びに施工に努めます。
7. 児童・生徒・学生や養護学校生、市民による環境保全活動への支援及び参画を実践し、地域社会への貢献と障害者雇用の推進に努めます。
8. この環境経営方針の達成のため、環境経営の継続的改善を図り、全社員を挙げて環境経営活動を推進します。
9. この環境経営方針は、全社員に周知徹底し、一般への開示を継続します。

平成 20 年 4 月 1 日 制定  
令和 4 年 12 月 12 日 改定

マルワ環境株式会社  
代表取締役 丸山修平

《事業規模》

項目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
収集運搬量	産業廃棄物	t	1,018	1,107	1,151
	一般廃棄物		83	21	25
	合計		1,101	1,128	1,176
中間処理量		t	839	843	759
売上高		百万円	370	379	336
従業員		人	23	23	22
敷地面積		m <sup>2</sup>	4,702	4,702	4,702

※集計は、9月～翌8月である。また、従業員数は9月1日時点のものとする。

環境への負荷の状況

《取りまとめ表》

項目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		kg -CO2	158,716	159,058	156,162
	購入電力	kWh	38,139	40,509	37,560
	ガソリン	L	3,637	3,914	3,877
	軽油	L	50,311	50,985	50,237
	灯油	L	153	120	187
	液化石油ガス	kg	9.9	9.2	11.6
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	383	277	312
廃棄物等排出量	一般廃棄物 (自社発生分)	t	0.9	0.7	1.02

受託した産業廃棄物、再生資源等の処理量等（自社運搬分）

項目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
産業廃棄物	収集運搬量	t	1,018	1,107	1,151
	中間処理量	t	839	843	759
	うち再資源化等量	t	77	73	84
	中間処理後の処分量	t	745	743	694
	最終処分量等	t	352	371	352
	中間処理量等	t	393	371	342

項目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
一般廃棄物	(可燃物/焼却処理)				
	収集運搬	t	83	21	25

《廃棄物処理料金》 個別見積りによる（見積り料は無料）。

収集運搬車両燃費

項目	車両	2022年度	2023年度	2024年度	
走行距離		(km)	(km)	(km)	
	軽油	2.1 t パッカー車 (車番 100)	20,059	21,034	24,913
	軽油	3.0 t パッカー車 (車番 200)	11,039	11,248	6,555
	軽油	1.9 t パッカー車 (車番 300)	20,845	20,549	20,886
	軽油	3.8 t アームロール車 (車番 500)	15,192	11,925	9,828
	軽油	11.6 t アームロール車 (車番 50)	23,061	22,500	21,604
	軽油	8.3 t アームロール車 (車番 55)	11,165	10,415	12,897
	軽油	6.4 t ユニック車 (車番 37)	7,066	8,257	7,098
	軽油	3.0 t ダンプ車 (車番 530)	3,893	3,113	3,050
	軽油	3.0 t ユニック車 (車番 530)	9,147	9,166	10,318
	軽油	3.5 t ユニック車 (車番 5300)	10,097	10,387	10,607
	軽油	1.0 t トラック (車番 6767)	5,396	4,215	3,305
	軽油	2.0 t パッカー車 (車番 16)	3,101	1,429	637
	軽油	2.8 t パッカー車 (車番 20)	-	-	1,396
全車両年間合計走行数		140,061	134,238	133,094	

項目	車両	2022年度	2023年度	2024年度	
燃費		(km/ℓ)	(km/ℓ)	(km/ℓ)	
	軽油	2.1 t パッカー車 (車番 100)	3.6	3.5	3.8
	軽油	3.0 t パッカー車 (車番 200)	4.6	4.3	4.1
	軽油	1.9 t パッカー車 (車番 300)	3.7	3.5	3.7
	軽油	3.8 t アームロール車 (車番 500)	4.5	4.1	4.2
	軽油	11.6 t アームロール車 (車番 50)	3.5	3.3	3.5
	軽油	8.3 t アームロール車 (車番 55)	3.8	3.6	3.6
	軽油	6.4 t ユニック車 (車番 37)	3.5	3.4	3.5
	軽油	3.0 t ダンプ車 (車番 530)	6.1	5.4	5.6
	軽油	3.0 t ユニック車 (車番 530)	5.8	5.5	5.5
	軽油	3.5 t ユニック車 (車番 5300)	4.8	4.9	4.9
	軽油	1.0 t トラック (車番 6767)	8.6	7.1	6.8
	軽油	2.0 t パッカー車 (車番 16)	3.7	2.8	2.0
	軽油	2.8 t パッカー車 (車番 20)	-	-	8.1

※2.8 t パッカー車に限り今年度は2か月分の使用

## 【 車両点検リストの作成 】

毎日の運行前の点検は勿論のこと、月初めには安全運転管理者を筆頭に全運転手が早朝から点検リストを基に車両チェックしています。不備や違和感など気になる点は記録し事務所に報告し即対処するようにしています。

点検中の様子



チェックリスト

車両点検表			
平成 年 月 日 ( )			
所属	部	課	
氏名			
車両番号			
車種			
点検箇所	項目	チェック	備考
ブレーキ	ブレーキペダルの遊びが適切か		
	ブレーキの効きが十分か		
	ブレーキ液が適量か		
	サイドブレーキの引きしろが適切か		
	サイドブレーキの効きが十分か		
エンジン	エンジンがかかるか、また異音はないか		
	エンジンオイルが適量で濁っていないか		
	冷却水が適量か		
	ファンベルトの張りは適切か		
バッテリー	バッテリー液量は適量か		
	空気が適切か		
タイヤ	亀裂や損傷はないか		
	溝に摩耗がないか		
	ホイールの取り付け状態が適切か		
ヘッドライト	点灯するか		
	損傷はないか		
方向指示器	不良なく点滅するか		
	損傷はないか		
ワイパー	払拭状態が適切か		
	ウィンドワッシャー液が適量か		
	ウィンドワッシャー液の噴射状態に不良はないか		
その他			

収集運搬の効率化の推進



←自社運搬による製鐵所への出荷

車両新装

2025年6月20日 2.8 t 鹿芥車納車



安全運転指導の様子



## 4.環境経営目標と実績

運用全期間(2024年9月～2025年8月)

項目		基準年度:2019年度		対する 基準 年度に する 目標 値	2023年度			2024年度			評価		
		合計	原単位: 売上100万円 当たり		合計	原単位: 売上100万円 当たり	削減率 (実績)	合計	原単位: 売上100万円 当たり	削減率 (実績)			
二酸化炭素の削減	kg-CO <sub>2</sub>	182,158	826.1	1% 削減	159,058	419.6	目標値	817.8	156,162	464.7	目標値	817.8	○
							実績	94.8%			実績	76.0%	
電力使用量の削減	kWh	45,420	202.7	1% 削減	40,509	106.8	目標値	200.7	37,560	111.7	目標値	200.7	○
							実績	87.9%			実績	79.7%	
灯油使用量の削減	L	180	0.52	0.5% 削減	120	0.31	目標値	0.52	187	0.55	目標値	0.52	×
		(基準年度2018年)					実績	67.7%			実績	-5.5%	
液化石油ガス(LPG)使用量の削減	m <sup>3</sup>	8.7	0.03	0.5% 削減	9.2	0.02	目標値	0.03	11.6	0.03	目標値	0.03	○
							実績	50%			実績	0%	
ガソリン使用量の削減	L	3,656	16.3	0.5% 削減	3,914	10.3	目標値	16.2	3,877	11.5	目標値	16.2	○
							実績	57.2%			実績	40.8%	
軽油使用量の削減	L	58,011	258.9	0.5% 削減	50,985	134.5	目標値	257.6	50,237	149.5	目標値	257.6	○
							実績	91.5%			実績	72.3%	
総水使用量の削減	m <sup>3</sup>	580	2.58	0.5% 削減	277	0.70	目標値	2.6	312	0.9	目標値	2.6	○
							実績	271.4%			実績	188.8%	
廃棄物排出量の削減 (自社発生分)	t	1.2	0.005	0.5% 削減	0.8	0.002	目標値	0.005	1.0	0.002	目標値	0.005	○
							実績	150%			実績	150%	
環境配慮製品、サービスの提供並びに施工	台数	0	0	3年後 1台 増加	0	0.0	目標値	1台増	1	0	目標値	1台増	○
							実績	未達成			実績	1台買替	

受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

処分業 (中間処分量)	t	513	2.29	1.5% 増加	371	0.97	目標値	2.3	342	1.01	目標値	2.3	○
							実績	137.1%			実績	127.7%	
収集運搬業	L (軽油)	58,011	258.9	0.5% 削減	50,985	134.5	目標値	257.6	50,237	149.5	目標値	257.6	○
							実績	91.5%			実績	72.3%	
	台	0	0	3年後 1台 増加	0	0	目標値	1台増	1	0	目標値	1台増	○
							実績	未達成			実績	1台買替	

◆削減率(実績)計算式:(2019年度原単位目標値-2024年度原単位実績)÷2024年度原単位実績×100=削減率(実績)%

※2019年度を基準年度として設ける

※2019年度の灯油使用量が0(ゼロ)使用のため、灯油使用量に関しては2018年度を基準とする。

◆電力の排出係数:令和7年度四国電力公表の調整後排出係数である0.454(kg-CO<sub>2</sub>/kWh)を使用

◆化学物質の使用はありませんので、目標設定はしていません。

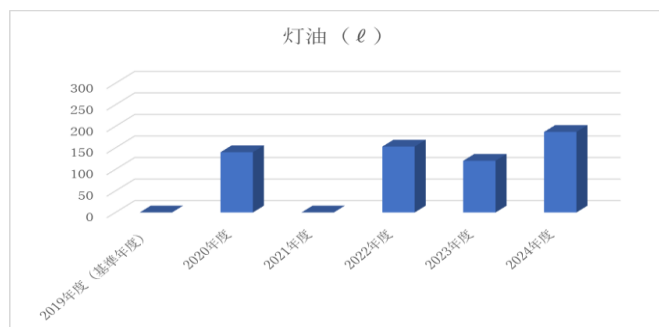
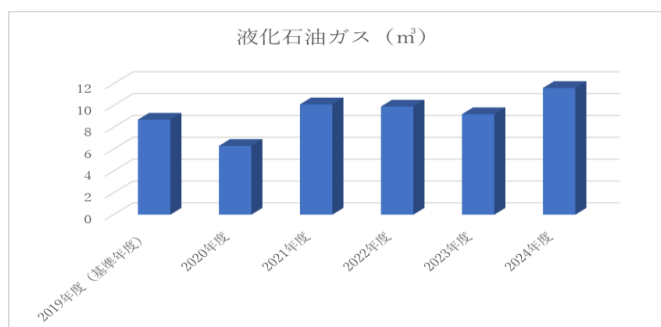
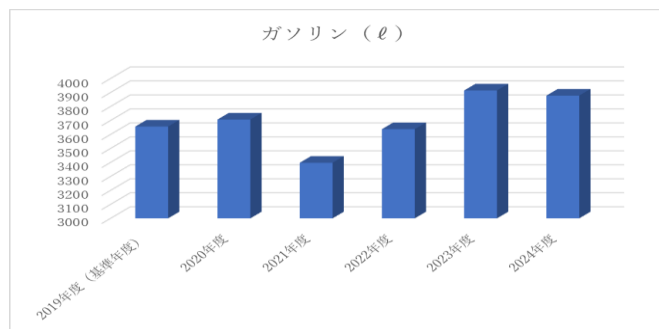
## 《2024 年度以降の環境経営目標》

当社の環境経営目標は、環境負荷の調査結果により以下のような目標に設定いたしました。

目標設定時期 2025 年 10 月作成

環境負荷削減目標	単位	2024 年度 原単位 実績 (2024.9~2025.8)	原単位に対する中期環境経営目標	
			基準年度 (2019 年度)	2025 年度~2027 年度
二酸化炭素	kg —CO <sub>2</sub>	464.7	826.1	年 1%削減、3 年後 3%の削減を目標とする。
電力	kWh	111.7	202.7	
灯油	L	0.55	0.52 (2018 年度)	年 0.5%削減、3 年後 1.5%の削減を目標とする。
液化石油ガス(LPG)	m <sup>3</sup>	0.03	0.03	
ガソリン	L	11.5	16.3	
軽油	L	149.5	258.9	
水使用量	m <sup>3</sup>	0.9	2.58	
廃棄物 (自社発生分)	t	0.002	0.005	
環境に配慮した製品、 サービスの提供、施工	品目数	1 台	0	2 年後 4 台 (1 台増加) を目標とする。
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮				
処分量	t	1.01	2.29	3 年後 5%の増加を目標とする。
収集運搬業	L (軽油)	149.5	258.9	年 0.5%削減、3 年後 1.5%の削減を目標とする。
	台数	1 台	0	3 年後 1 台の増加を目標とする。

※灯油使用量に関しては 2018 年度を基準年度と設ける。(2019 年度の灯油使用量が 0 (ゼロ) 使用の為)



## 5.今年度（2024年度）環境経営計画とSDGsへの取り組み

### 6.環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

マルワ環境株式会社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs	環境経営方針に基づいた環境経営計画	取組内容	取組結果	評価	次年度の取組内容	取組部門
	環境マネジメントシステムの継続的改善を図り、環境負荷の削減と環境汚染の未然防止を図る	環境経営方針・目標・計画の周知 環境経営目標・環境活動状況確認	休憩室などに掲示し、社員の目に留まるようにしている。 SDGsを方針に取り入れるなど会議を積極的に進めた。	○ ○	継続して取り組む。 継続する。社員の意見を随時受け付ける。	事務所 社屋
	古紙・金属・プラスチックなどのマテリアルリサイクルの推進及びリサイクル率向上による資源の有効利用、廃棄物排出量の削減	選別の徹底 社員講習 リサイクル先の新規開拓	定期的な指導を行った。 安全指導を重点的に指導を行った。 取締役のもと、従業員の意見を踏まえながら取り組んだ。	○ ○ ○	細かい部分まで指導できるよう指導を強化する。 勤続年数が長い従業員が増えたため再度講習を検討。 継続して取り組む。	現場全体 事務所
	収集運搬・処分における環境配慮	低燃費車両の導入を推進 積み込み時に騒音を立てないように努める 排気ガス・騒音・振動等のレベルを抑えるため適正な車両整備を行う 走行距離の短縮化を図る 受託した産業廃棄物を適切に分別・処理し、リサイクル率の向上を図る	塵芥車1車納車。 引き続き実施する。 引き続き実施する。 定期的に案を出し合い、効率よい作業を持続する。 引き続き実施する。	○ ○ ○ ○ ○	引き続き低燃費の車両・機械の導入を検討する。 継続して取り組む。 タイヤの空気圧、オイル交換など車両管理を徹底する。 朝礼時に運搬ルートの打ち合わせを念入りに行う。 整理整頓を徹底し、作業効率をあげる。	現場全体 各車両 事務所
	二酸化炭素と使用エネルギーの削減 ／電力使用量の削減	湿度管理をしながら空調の適温化を図る 簡易点検記録簿に基づき、空調・冷却施設の保守点検を定期的に行う 第一種特定製品の点検・整備記録簿に基づきフロン類の排出抑制の為に、適切な管理を行う 照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理 不要照明の消灯	厳しい暑さが続き冷房使用期間も長期にわたった。 定期的な点検を行った。 2、3ヶ月毎の点検。定期的に業者によるメンテナンス。 通年にわたり実施できた。 通年にわたり実施できた。	○ ○ ○ ○ ○	臨機応変に対処する。 継続して取り組む。 定期的な点検を継続する。 継続して取り組む。 昼休みや使用時以外の照明消灯の徹底。	現場全体 社屋
	水使用量(排出量)の削減	水道配管からの漏洩を定期的に点検する 節水ポスターの掲示 洗車方法の改善	定期的な点検ができた。 社員への声掛けを行った。 定期的な洗車を行った。	○ ○ ○	定期的な水周りの掃除を行う。 継続して取り組む。 継続して取り組む。	社屋 事務所
	環境経営に配慮した製品、またはサービスの提供並びに施行に努める	燃費の良い車両の採用 製品・サービス並びに工事などの施行に関して、可能な限り環境に配慮をする	塵芥車1車納車。 工場内の舗装工事を行った。	○ ○	引き続き燃料状況をデータ化する。 顧客や発注者に対し、環境保全を提案する。	現場全体 社屋
	地域社会への貢献と障がい者雇用の推進	各講演への出席、見学会の受け入れ 実習生の受け入れ	今年度は依頼がなかった。 工場見学を来期11月予定している。	○ ○	継続して受け入れる。 継続して受け入れる。	事務所
	環境経営方針の達成のため、環境経営の継続的改善、環境経営活動を推進	全社員を挙げて環境経営活動を推進する	会議や指導を行うことができた。	○	継続して取り組む。	事務所
	環境経営方針を全社員に周知徹底し、一般への開示を継続する	全社員へ環境経営方針・目標等の周知 定期的な会議や訓練の実施 環境経営レポートの公開	休憩室などに掲示し、社員の目に留まるようにしている。 会議や指導を行うことができた。 通年にわたり実施。	○ ○ ○	継続して取り組む。 各従業員がエコ活動につながるよう行動を起こしていく。 継続して取り組む。	現場全体 事務所

## 7.環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

《違反、訴訟等》

環境関連法規への違反・訴訟等はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘並びに訴訟は過去3年間ありません。

《当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況》

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法・マニフェスト管理	産業廃棄物中間処分業許可・産業廃棄物収集運搬業許可 一般廃棄物収集運搬業許可・廃棄物再生事業者登録など	遵守
古物営業法	古物営業の許可等・古物商及び古物市場主の遵守など	遵守
浄化槽法	浄化槽の設置・浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃など	遵守
建設業法	建設業の許可・建設工事の請負契約など	遵守
建設リサイクル法	分別解体等の実施・再資源化等の実施など	遵守
消防法	火災の予防・消防の設備など	遵守
徳島県生活環境保全条例	生活環境の保全に関する規制等・生活環境への負荷の低減など	遵守
騒音規制法	工場及び事業場における事業活動に伴って発生する相当範囲にわたる騒音について必要な規制を行うなど	遵守
フロン排出抑制法	四半期に一回以上の業務用冷凍空調機器への簡易点検をおこない、フロン類漏洩の早期発見を行うなど	遵守
北島町公害防止条例	町が実施する公害の防止に関する施策に協力する責務 公害の防止について最大限に努力をするなど	遵守

## 8.代表者による全体評価と見直しの結果

### 【 評価 】

近年続く猛暑により、夏場の電力・燃料使用問題が通期での大きな課題となってきた。

廃棄物総取扱量は前年度比4.8%の増加となったが、CO2排出量は1.82%の削減ができた。

猛暑禍では社員が活動し、やさしい環境（温度）への適宜改善を図り、作業中の冷却ベストの装着および熱中症指数計を工場内各所へ設置、適温活動帯での集中業務を行った。

また大規模舗装工事により雨水配水の改善、凹凸の修繕でのスムーズな車両運行が可能になったこともエコドライブの推進につながった。

ようやく新型トラックが1台導入できた。納期問題はいまだ自動車業界では解決されず資産的な環境低減策の機能は遅れている。続けての新型トラック・機械の導入を控えており今後の環境負荷低減に寄与できそうである。

引き続き社員一丸で、環境保全・地域環境の改善に努めていきたい。

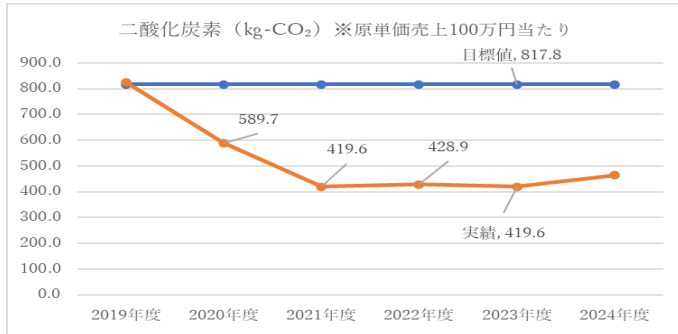
### 【 見直しの指示 】

- ・ 環境経営方針 … 変更の必要なし 変更の必要性あり
- ・ 環境経営目標・計画 … 変更の必要なし 変更の必要性あり
- ・ 経営システムの各要素 … 変更の必要なし 変更の必要性あり
- ・ 実施体制 … 変更の必要なし 変更の必要性あり

## 9.社内活動の紹介（環境保全・維持向上活動風景） 取組状況 ～ 環境目標達成への主な取組 ～



### 【 電力による二酸化炭素排出量の削減 】

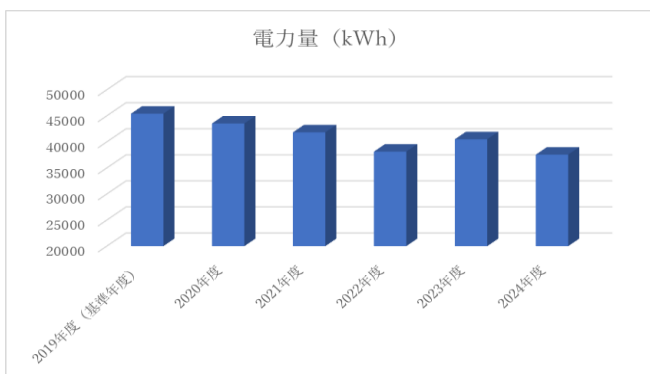


#### 二酸化炭素排出量の削減活動

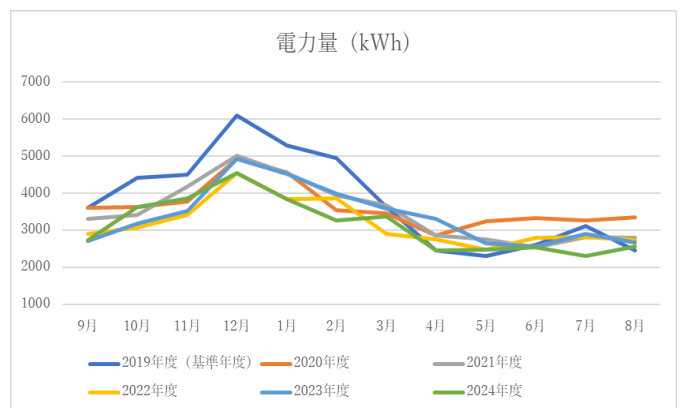
- ・工場内のセンサーライトのLED化
- ・各所の照明に節電呼びかけの張り紙
- ・本社事務所内の照明をLED化し消費電力の削減  
(2023年2月施行：会議室10灯、給湯室・トイレ2灯、休憩室3灯、階段非常灯1灯、社長室2灯の計18灯のLED照明交換工事)



### 【電力使用量 年度別比較】



### 【電力使用量 月別比較】



### 【 わが社の太陽光発電 】



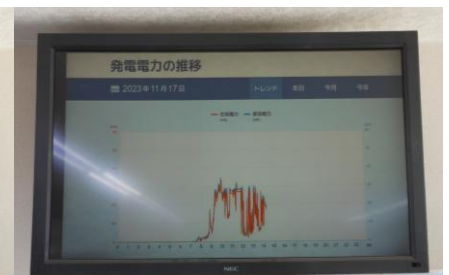
社屋の屋根に太陽光パネルを設置してあります。

地球温暖化を防止するためにも、再生可能エネルギーの重要性は増しており、中でも太陽光発電の果たす役割は非常に大きいといえます。限りある資源である化石燃料に代わって、太陽光などの自然エネルギーによる発電を取り入れるだけで地球環境問題に大きく貢献することができます。

#### ■ 社屋の屋根



#### ■ 発電量の見える化

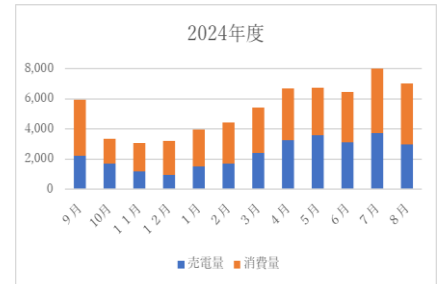
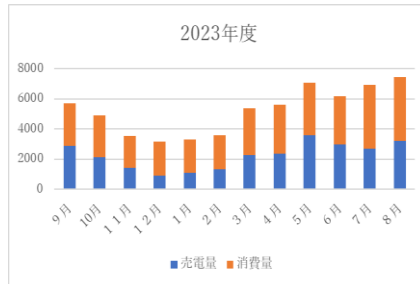
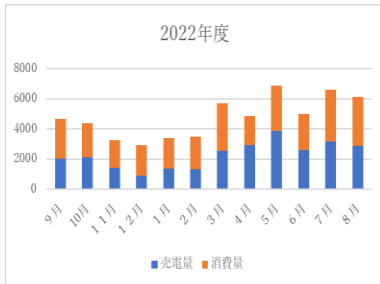


## ■太陽光の総発電と売電量、消費量 (kWh)

太陽光の総発電量と売電量、消費量 (kWh)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売電量	2,236	1,681	1,200	959	1,526	1,712	2,393	3,274	3,583	3,137	3,723	2,991
消費量	3,732	1,681	1,857	2,250	2,417	2,739	3,026	3,440	3,189	3,332	4,687	4,061
総発電量	5,968	3,362	3,057	3,209	3,943	4,451	5,419	6,714	6,772	6,469	8,410	7,052

## ■太陽光発電量 (kWh)



## 【 全従業員が安心して働ける職場づくり 】

### 工場内周辺の清掃活動の様子



2025.5.14

### 交通事故防止対策



## 【 資格・免許取得のサポート 】

従業員のレベルアップのための資格取得をサポートしています。各種研修への参加やフォークリフト等の免許取得を活かし、男女共に働き甲斐のある職場づくりを目指しています。



## 【 熱中症対策 】

異常気象ともいえる厳しい猛暑ですが、炎天下での作業も多く、熱中症の危険といつも隣り合わせです。

全従業員が熱中症にならないように様々な対策をしています。



← 工場内に熱中症指数計を設置



水冷ベスト (写真: ネットから引用)

### 【 現場での対策 】

☑こまめな休憩と声掛け

☑塩分タブレット配布

### 【 事務所での対策 】

☑出勤時の体調確認

☑休憩室の温度管理

☑1時間毎に場内放送で休憩の呼びかけ

☑ファン付き作業着の配布

↓今年度より新しく導入

☑熱中症指数計の設置

☑冷感インナーの配布

☑水冷ベストの配布

☑15時: アイスクリーム等でクールダウン

## 【 社会貢献 】



定期的に子ども食堂と子供宅配へ寄付させていただいております。  
この活動は、食材や物品、資金など子ども食堂に必要な資源を寄付することで、活動を支援することができます。子どもたちの健康を衛（まも）ることから SDGs の目標である「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」と関連する取り組みだといえます。今後ともこの活動を続けて参ります。



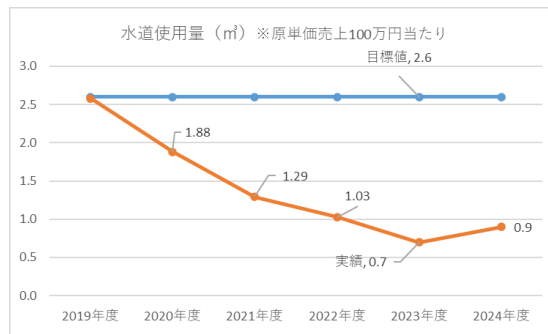
← 受付カウンターに募金箱を設置

【2025年5月 丸山会長が子ども食堂へ伺いました】

## 【 水道水使用量の削減 】



↑ 蛇口付近に節水呼びかけの掲示



張り紙の効果から従業員の節水への習慣が数値としても現れている。  
また、所有トラックの洗車時もバケツを使用するなど従業員がそれぞれ工夫しながら行うことで水の使用量の削減に繋がっていると考えられる。

## 【工場内舗装工事】

2025.4.12-4.13 施工



2025.8.10-8.19 施工



# 会社紹介

当社は、創業50年の経験を活かし、金属、故紙、プラスチック等をリサイクルしています。「地域とともに」「お客様と共に」をモットーに、お客様には廃棄物の発生を抑えることにご理解、ご協力いただき、徹底した分別と分離排出にご協力いただいています。皆様のご協力により埋立て処分及び焼却処分を出来る限り無くし、4Rに挑戦しています。



徳島県優良産業廃棄物処理業者  
第2区分に認定



公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会 会員  
障がい者にやさしい企業であることを証明する、ハートフルマークを取得しています。

## 地域と共に

当社は、福祉就労と企業就労の間を埋める活動に協力しています。地域の福祉機関から職場実習を受け入れ、また作業の一部を委託することで、福祉施設外の作業実習の場所として工場を開放しています。重度障害者多数雇用事業所として、福祉機関とのつながりを大切に障害のある人の就労促進に協力してまいります。



徳島県障害者雇用優良企業認定  
マルワ環境株式会社は、  
徳島県優良産業廃棄物処理業者に認定されています。



厚生労働省 障害者雇用優良事業所全国表彰受賞  
2010年9月1日  
厚生労働省より障害者雇用優良事業所全国表彰されました。

